

緊急企画

サステナブルなイベント運営における サプライチェーンCSRのあり方とは何か？

～ISO20121について学び、 オリンピック開催候補地企業としての対応を考える～

日時：2013年3月5日(火) 13:30～16:00(受付開始 13:00)

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階 JR東京駅八重洲北口 徒歩1分 ※会場案内図:下図参照

主催：経済人コー円卓会議日本委員会

定員：50名

対象：CSR/CSR関連のご担当者

参加申込締切：3月1日(金)

参加費：当会会員：無料

一般：3,000円

会場案内図



プログラム(予定)：

※変更となる可能性があります。

- (1) 主催者挨拶
- (2) 「ISO20121策定の背景」
社団法人日本イベント産業振興協会 越川 延明氏
・イベントにおけるサステナビリティ(持続可能性)とは
・ISO化の目的と経緯
- (3) 「イベントサステナビリティとサプライチェーン」
SGSジャパン株式会社 西 利道氏
- (4) 「国際的なスポーツイベントとサプライチェーンに
おける取り組み」
アディダスジャパン株式会社 奈良 朋美氏
テラーメイドゴルフ株式会社 小杉 文美氏
- (5) 質疑応答
- (6) 有識者コメント
- (7) 閉会挨拶

※お申込・お問い合わせ先
経済人コー円卓会議日本委員会 岡田・鈴木
電話：03-5728-6365 FAX：03-5728-6366
e-mail: info@crt-japan.jp
URL: http://www.crt-japan.jp/

2012年6月、ISO20121(持続可能なイベント運営のためのマネジメントシステム)が策定されました。ロンドンオリンピックに続き、次回の2016年リオデジャネイロオリンピックも、これに準拠して行われる予定です。また、2020年オリンピック招致を目指す東京都も、IOC(国際オリンピック委員会)に提出した立候補ファイルに、大会運営に当たってはISO20121に沿った対応を取ると明記しました。

ISO20121は、イベント開催に関係するサプライチェーンに対して、持続可能な取り組みを求めるものです。この規格が対象とする巨大イベントの開催に関係するサプライチェーンは、会場建設にあたる建設業から、選手や運営側のユニフォーム製作のためのアパレル業や小売業、運営に必要な車両を提供する自動車産業、選手・観客・関係者の輸送を担う運輸・物流業、選手村の部屋の清掃を行うクリーニング業、更にはメディアセンターでの放送・出版業といったように、幅広い業種に及びます。また、国際的なイベント開催時に企業がこの規格に準拠した行動を行っているのかを監視する国際NGOの動きにも、産業界として十分注意を払う必要があります。しかし、ISO20121の規格そのものや、産業界へ及ぼす影響について紹介する国内メディアはまだ少なく、結果としてこの規格への認知が低いというのが現状といえるでしょう。

そこで、ISO20121に対する理解の浸透を図り、2020年東京オリンピック開催が実現した際に表面化する恐れがある、日本企業の潜在的なリスクをいち早く認識するとともに、適切な対処について検討することを目的に、今回のサプライチェーンCSRセミナーを企画しました。

多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

切り取り

サステナブルなイベント運営における
サプライチェーンCSRのあり方とは何か？

参加申込書 FAX:03-5728-6366 e-mail:info@crt-japan.jp

企業・団体・学校名、部署名

いずれかに○を付けて下さい

() CRT日本委員会 会員

() 一般

ご住所

TEL

FAX

参加者氏名・役職名

1

E-MAIL

2

E-MAIL